



●ガバナー 成田 秀治 ●会長 西尾 和樹 ●幹事 慶徳 拓也 ●コミュニケーション委員長 吉田 立盛

ホームページ：<http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/> Email：[hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp](mailto:hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp)

Facebook ページ：<https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/>

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：<http://www.rotary-aomori.org/2020/>

## 第 2208 回 例会 記録

《お花見例会》

2022 年 4 月 21 日 (木)

点鐘 12:30

レポート No. 1640



吉田副 S A A

## 四つの反省

- 1) 真実だったか どうか
- 2) みんなに公平だったか
- 3) 好意と友情を深めたか
- 4) みんなのためになったか どうか



伊藤職業奉仕委員長

## 《会長要件》西尾会長



みなさん、こんにちは。八戸の桜も満開となり、本日の例会はお花見例会です。先週末には、八戸公園のこどもの国に家族で行ってきたのですが、暖かい春の陽気で、八戸中の子どもたちがいるんじゃないかというぐらいにぎわっていました。長い長い冬が終わって、ようやく暖かい春になって、外で走りまわることができる。コロナが収束したわけでもないのに、感染拡大のリスクを抱えながらですが、感染対策も行ったうえで、いろいろと活動できるのではないかと思います。

今週月曜日には、八戸市を緑にする会の定期総会に出席してきました。当クラブの吉田賢治会員のニシキデザインさんと橋本修会員の香月園さんが副会長をされております。明日から5月5日までの2週間、長者まつりんぐ広場で緑化まつりが行われるということですので、足を運んでみてはいかがでしょうか。最初の緊急事態宣言からこの4月でちょうど2年となり、南宗寺さんでのお花見例会も変更とさせていただきます。のちほど、私の方から少しお話をさせていただきます。

## 《幹事報告》慶徳幹事

先程会長からもありましたが、八戸市を緑にする会様より「第50回八戸市緑化祭り」の案内が来ています。日程は明日より5月5日迄、時間は9時から17時まで、長者まつりんぐ広場で開催ということですので。

例会変更のお知らせ、八戸 RC 5月4日(水)祝日につき休会、5月25日(水)時間場所変更、八戸北 RC 5月3日(火)祝日につき休会、5月31日(火)任意休会、八戸中央 RC 5月2日(月)祝日の週につき休会です。いずれもメーカーは受け付けているとのことですので。



## 《出席報告》米内委員長

正会員数 31 名。本日の出席は免除会員 4 名を含む 19 名。出席率は 73.1% です。



## 《ニコニコボックス》米内副委員長

西尾会長：桜満開です。お花見楽しみましょう。

慶徳幹事：お花見日和ですね。

松田会員：お花見楽しみましょう。



## 《国際奉仕委員会》小原米山担当副委員長



米山担当副委員長の小原です、米山記念奨学会の寄付のお願いで上がらせていただきました。先日地区の成田ガバナーと地区米山記念奨学会三浦委員長から、各クラブ会長あてに米山記念奨学会への寄付のお願いというのが来ております。かいつまんで申し上げますと、いよいよ成田秀治ガバナー年度もあと2ヶ月となりました。新奨学生5名を迎え2022年奨学生のお世話をする事になり、会員の皆様のご寄付に感謝しております。米山記念奨学会の寄付目標は、普通寄付1人3,000円、特別寄付1人10,000円以上をお願いしております。しかし、3月31日現在、第2830地区は、普通寄付個人平均額2,559円、特別寄付個人平均額3,988円ということで全国で最下位ということですので。普通寄付の3,000円に付きましては、皆様から頂いた会費の中から半期ごとに地区に送金しておりますので、特別寄付の方ですが会員数に10,000円かけた半分にちょっと満たないような現状ですので、出来ればよろしくお願ひいたします。

## 《会員卓話》西尾会長

本年度のプログラムを見ますと、来週、再来週が休会で、もう5月、6月とバタバタといくと今年度も終わりです。会長のうちに、自由に話せる今のう



ちに少しお話をさせていただこうかと思ひます。

今年の蕪島海岸清掃は4月29日昭和の日に行います。4月29日はもともと昭和天皇の誕生日で天皇誕生日という祝日でした。平成になって、「みどりの日」に変わったのですが、その趣旨は、「自然にしたしむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ」こと。「昭和天皇は植物に造詣が深く、自然をこよなく愛したことから『緑』にちなむ名がふさわしい」という意見のもと定められました。平成19年から「昭和の日」という名になり、それまで祝日に挟まれる平日で国民の休日であった5月4日が「みどりの日」になったという経緯があります。あわせて、4月15日から5月14日を「みどりの月間」とし、各地でみどりに関する各種行事が行われています。

「緑の羽根募金」は、国土緑化運動のシンボルとして、戦後の荒廃した国土に緑を復活させる目的で昭和25年から行われました。みどりの月間と緑の募金運動について、平成22年4月15日に赤松広隆農林水産大臣の談話をご紹介します。読み上げます。

「4月15日から5月14日までは、『みどりの月間』です。新緑がまぶしい季節を迎える中、この『みどりの月間』は、特に国民が「みどり」を意識しやすい時期でもあります。農林水産省といたしましては、多くの人々に身近な緑や森林に親んでもらえるよう、この時期に「みどりの感謝祭」等の緑化行事を開催するとともに、「緑の募金でふせごう地球温暖化」をテーマに緑の募金運動を重点的に展開します。緑の募金は、国民の自発的な森林整備活動を推進するものであり、直接森林づくりに参加する機会がない方も、緑の募金運動に参加することによって森林を支えることができます。地球温暖化や生物多様性などの環境問題が、人類共通の課題となっている今日、私たちの暮らしを支える、かけがえのない緑や森林を守り育てるため、緑の募金活動が全国各地で積極的に展開されることは、大変に意義深いものです。農林水産省といたしましても、緑や森林を守り育てる緑豊かな国土の形成・保全に積極的に取り組んでいくところであり、多くの国民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。」

この談話が発表された平成22年の4月、私は、林野庁に就職して4年目でした。北海道の天塩町という旭川市と稚内市と留萌市の間に位置する日本海に面した町にいました。当時は、管理係という業務関係の総務にあたる仕事、国有林野の管理、一般の方の入林の管理や、土地の貸付や売却、道路用地への売却や電気会社の送電線や施設の打合せ、春先ですと山火事防止の各市町村での対策協議会や消火訓練を行っていました。

八戸市や階上町、五戸町には、そもそも国有林野がないので、森林管理署の管轄もなく、ほとんど関りがありません。この近くですと、十和田市に三八上北森林管理署というのがあります。北海道の時の同僚が現在、そこに勤務しているので、会長年度のうちに卓話をお願いしたいなあという話もしたことありましたが、コロナの影響もあり、叶いませ

んでした。

八戸市、階上町には三陸復興国立公園がありますから、担当する環境省の自然保護官は注目されます。先日も5代目の自然保護官の着任がニュースに出ていました。自然環境の保護と観光資源としての活用が問われることで、話題性があり、注目され、林野庁出身者としては、ちょっとジェラシーを感じることもあります。自然環境の仕事をめざすときに、林野庁と環境省は似ている職場なのですが、林野庁は国有林野という自前の土地を持ち、現場の森林官は自分の管轄区域の森づくりを考え、実行することができます。環境省は、土地を持っていませんので、国立公園という法律の網をかけ、地域の方々と規制と活用のバランスを調整します。それぞれ手法・役割が異なるので似て非なる仕事です。

お配りした資料は、北海道森林管理局の職員が書いた「北の森漫画」の一部です。職員自らが林業について、紹介しているものになります。北海道森林



管理局のホームページに掲載されています。警察署や消防署の同じ署という漢字を使って森林管理署というのがそれぞれあります。そのなかに警察の派出所にあたる森林事務所というのがあり、森林官という職員がいます。YouTube「日本のお山森アゲ隊 - 冬の森林官編 -」（動画放映）

林野庁の仕事を少しでも伝えたい、という思いで今日、時間を使わせていただきました。うまく伝わってはいないかもしれませんが、今日あらためて、森林・林業に関わって行きたいんだなあという自分を再発見することができました。

この気持ちは発信し続けていこうと、ロータリークラブの会長になって、この話ができたので、もう本年度思い残すことはないかな、と思っています。

残り2か月よろしく願いいたします。

《国際奉仕委員会》小原米山担当副委員長

早速4名の方から寄付を頂きありがとうございます。久保田会員、米内会員、松田会員、伊藤会員どうもありがとうございます。